

④質問する(中学校)

『分からないことを質問しよう』

1. 展開案

過程	学習活動	教師の働きかけ	留意すること
わかる	1. 本時のめあてを知 る。	<p>○質問することは、自分が知りたい情報を得たり、もっと深く知りたいときや理解を深めるときに行います。でも、自分から聞くのは勇気がいるので、ついつい、そのままにしてしまうことがありますか？逆に、相手の状況をよく考えずに、自分が質問したいことをど んどん話して、「ちょっと待って、今○○をしているから」と言われたことはありませんか？</p> <p>○では、分からないことはどのように質問すると、相手は快く質問に答えてくれるでしょう。</p>	<p>・「質問の仕方」のスキルを身に付けることで、人間関係づくりが一層うまくいくことに気付かせる。</p>
分からないことを質問しよう			
	<p>2. モデリングを見て、質問の仕方のポイントを知る。 【モデリング】 Ⅰ強気な態度で Ⅱ遠慮がちに Ⅲポイントを意識して</p>	<p>○授業を進める上での約束を確認します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恥ずかしがらない</li> <li>・冷やかさない</li> <li>・よいところを見つける</li> </ul> </div> <p>○これから先生が3つの質問の仕方を実際にやってみます。それぞれ、質問された方はどんな気持ちになるか、考えながら見てください。(「質問する役」の人)に注目しましょう。</p> <p>○どの質問の仕方がよかったですか。</p> <p>○3つ目の質問の仕方をもう一度やってみます。どのようなところがよいか、考えながら見てください。</p> <p>○どのようなところがよかったですか。</p> <p>○頼み方のポイントをまとめましょう。まず、相手が今質問に答えられる状況かどうか、都合を聞きます。質問は、聞こえる声で言しましょう。また、質問する内容は事前に整理しておきます。最後に質問に答えてくれたことに対して「ありがとう」とお礼を言います。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【質問の仕方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①都合を聞く</li> <li>②聞こえる声で</li> <li>③内容を整理して</li> <li>④お礼を言う</li> </ul> </div> <p>○都合を尋ねるのはイメージが難しいですね。例えば、「ねえ、ちょっといい?」「今、聞いても大丈夫?」「お時間を少し頂けますか?」な</p>	<p>・約束が必要な理由を添えて説明する。</p> <p>・モデリングは、ポイントが分かりやすくなるように演じる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>※モデリングシナリオ参照</p> </div> <p>・悪い点ではなく、よい点に注目させる。</p> <p>・提示するポイント以外で、生徒から気付きが出たら、それらも必要であることを伝える。</p> <p>・イメージが掴みにくいポイントは分かりやすく例示して伝える。</p>

		どが考えられます。場面や相手によって使い分けます。	
や っ て み る	3. 質問の仕方のポイントに気を付けながら練習①をする。	○上手な質問の仕方を練習します。まず、練習①は『質問ゲーム』を通して、質問の仕方のポイントの大切さを体験します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく取り組ませ、ゲームの中で感じた気持ちを交流することで、練習への動機付けを図る。</li> <li>・『質問ゲーム』は練習①になることを伝えて、ポイントを意識して行わせる。</li> </ul>
	『質問ゲーム』		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2人1組になり、ジャンケンをする。</li> <li>・ 勝った方が1つ質問をする。</li> <li>・ 「相手に聞こえる声で」「質問する内容を整理して」</li> <li>・ 質問に答えてくれたら、「お礼を言う」</li> <li>・ 1分間繰り返す。</li> </ul>		
4. 全体で話し合い、練習①を振り返る。	○ゲームでポイントを意識して取り組みましたが、どのような気持ちになったか、聞いてみましょう。体験してどのような気持ちになりましたか。	○ふり返しシートに自己評価をします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポイントを使って頼まれるとどのような気持ちになるかを押さえる。</li> <li>・ ふり返しシートを配布し、記入させ、よかった点を振り返らせる。</li> </ul> <p>※ふり返しシート参照</p>
5. 質問の仕方のポイントに気を付けながら、練習②をする。	○4人組になって、ポイントに気を付けながら、質問の仕方の練習②をしましょう。ワークシートを見てください。	○まず、役割を分担します。始めに役割を決めますが、役割は交代してすべて体験します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートを示し、場面を説明する。</li> </ul> <p>※ワークシート参照</p>
	○「質問する役」「相手役」の人は席を立てて練習します。練習ですので、「相手役」の人は答えられる範囲で答えてください。答えられないときは「ごめんね、分からない。」などと答えて構いません。	○「質問する役」「相手役」の人は席を立てて練習します。練習ですので、「相手役」の人は答えられる範囲で答えてください。答えられないときは「ごめんね、分からない。」などと答えて構いません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふり返しシートとワークシートは両面印刷をしておくとい。</li> <li>・ 「質問する役」「相手役」「観察役(2人)」の役割を分担させる。</li> <li>・ 「役は時計回りでまわす。」など、指示しておくことスムーズに練習できる。</li> <li>・ 練習でポイントを使って質問することができている生徒をその都度褒める。</li> </ul>
6. グループで話し合い、練習②を振り返る。	○練習②を振り返りましょう。「観察役」の2人は4つのポイントができていたか、どのようなところがよかったか、具体的に振り返ってください。4つのポイント以外でもよいところがあったら、伝えてください。	○ふり返しシートに自己評価を記入しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「観察役」には4つのポイント以外でもよいと思ったことを伝えさせる。</li> </ul>
	○3回目の練習で、特に気を付けたいポイントを決めます。ふり返しシートをみて、記入してください。2回目の練習で全部できていた人は新しくポイントを作ってもいいです。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最後の練習では、生徒自身がどのポイントを意識して練習に取り組むかを明確にさせ、練習への動機付けを図る。</li> </ul>

	<p>7. 質問の仕方のポイントに気を付けながら、練習③をする。</p> <p>8. グループで話し合い、練習③を振り返る。</p>	<p>○では練習③を行います。ワークシートの練習③の欄を見てください。4つの場面を準備しています。どの場面を練習するかは「質問する役」の人が決めてください。</p> <p>○練習③を振り返りましょう。「観察役」の2人は4つのポイントができていたか、どのようなどがよかったか、具体的に振り返ってください。ポイント以外でもよいところがあったら伝えてください。</p> <p>○ふり返しシートに自己評価を記入しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が終わったら、他の場面に挑戦してもよいことを伝える。</li> <li>・練習でポイントを使って質問することができる生徒をその都度褒める。</li> </ul>
<p>ふりかえる</p>	<p>9. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日の学習を振り返ります。ふり返しシートに記入しましょう。</p> <p>○今日は、上手な質問の仕方を練習しました。分からないことを質問する場面は、毎日の生活の中で、よくあります。どのような場面でも、4つのポイントを使えば、相手とのよい関係を築くことができます。上手に質問ができるようになって、皆さんの人付き合いの輪が広がったり、深まったりするといいですね。</p> <p>○これからしばらくチャレンジ週間を行います。普段の生活の中で、今日の学習が生かされたかどうか確認をしながら、自分の人間関係を築く力を向上させていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート、ふり返しシートを回収する。</li> <li>・質問の仕方のスキルの意義を押さえ、定着化の取組(チャレンジ週間)に向けて、生徒の意欲を高める言葉かけをする。</li> </ul> <p>・の説明をする。</p> <p>※チャレンジシート参照</p>

# モデリングシナリオ

\*生徒A役は教師が行う。

## 場面設定

数学の宿題がどこだったか聞き損なったので、困っている。

### モデリングⅠ 強気で、唐突に質問する。

生徒B：(本を読んでいる。)

生徒A：きのう先生が出した宿題って、このページだっけ？

生徒B：あ～、うん。

このように言われると、どんな気持ちになりますか？

予想される反応：本を読んでいるのにと、自己中心的な感じがするなど

### モデリングⅡ 遠慮がちに質問する。

生徒B：(本を読んでいる。)

生徒A：〇〇さん、昨日数学の時間のことなんだけど、授業の最後のあたりで、先生が何か話していたと思うんだけど……。その時ちょっと黒板をノート写していたから聞き損ねちゃったんだよね……。それでさ、先生何を話していたのかなぁと思って……。

このように言われると、どんな気持ちになりますか？

予想される反応：はっきり言ってほしい、何が言いたいのか分からない、イライラするなど

### モデリングⅢ ポイントを意識して質問する。

生徒B：(本を読んでいる。)

生徒A：〇〇さん、今大丈夫？

生徒B：うん。(本を読むのをやめる。)

生徒A：実は、数学の宿題がどこか分からなくて困っているんだけど、教えてくれる？

生徒B：いいよ。

生徒A：ありがとう。

このように言われると、どんな気持ちになりますか？

予想される反応：嫌じゃない、答えたら、いいことをしたような気分になるなど

### どんなところがよかったかな？

予想される反応：相手の都合を尋ねていた、聞こえる声ではっきり質問していた、相手の都合を聞いていた、簡潔に質問していた、お礼を言っていたなど

### 3. 活用場面のアレンジ例

「④質問する」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

- ・ゲストティーチャーに質問するとき
- ・翌日の連絡を先生に聞きに行くとき
- ・授業中分からないことがあり、友だちに質問するとき
- ・授業中分からないことがあり、先生に質問するとき
- ・休み時間のおしゃべりの最中に質問するとき
- ・給食・掃除中に質問するとき
- ・バス旅行・修学旅行などの校外学習で質問するとき
- ・遊びの中で友達に質問するとき
- ・講演や集会で最後に質問するとき
- ・配られた印刷物に対して質問するとき
- ・テスト中、テスト問題について質問するとき
- ・職場体験で、事前に用意するものなど質問するとき
- ・職場体験で、分からないことを説明するとき
- ・部活動中に先輩や後輩、先生に質問するとき